

こどもレポーターによる お仕事魅せまショー #4

同じテーマでレポーターが描いたラフ画を元に
プロのデザイナーさんがポスターを作成してくれました！！

取材日：2025.8.21

レポーター：M.A (中3)
K.M (中3)
S.T (中2)



≡ KOYO

<会社概要>

- 株式会社高陽印刷所
- 所在地：横浜市南区白妙町3-39
- 設立：1937年6月10日
- 従業員数：20名
- 業務内容：コミュニケーションデザイン事業
(戦略・企画立案、ブランドデザイン、
コンテンツ制作、web制作、ムービー制作)や
印刷事業(商業印刷物、事務印刷物の製造)

株式会社高陽印刷所

株式会社高陽印刷所は、創業78年の老舗印刷会社です。地元横浜市内の企業を中心に、情報伝達の方法が紙からITへと変化していく時代に合わせ、「印刷業」から「情報伝達業」として変化しながら、様々なツールの制作に携わっているそうです。

「デザイン」の中にも、パンフレットやポスターなどのデザインや印刷を行う仕事と、Webサイトや商品の説明動画の企画・制作を行う仕事があります。どちらも企業や商品のコンセプト、伝えたいことやターゲットなどを依頼者へのヒアリングやマーケットリサーチを踏まえて、「ブランドイメージをどう表現するか」など戦略・企画立案を考えるとところは共通しています。他にもイラストなどの素材を集めたり、写真撮影やレタッチ作業をしたり、BGMを選んだり…色んな「デザイン」の仕事がありました。

アカウントグループ(営業職)では、お客様の希望に合わせ、企画の提案や自分の会社のサービスを紹介するなど、広報活動を行っています。

お茶のポスター ラフ画づくりに挑戦！

■体験内容：ポスターデザイン業務

- 「女子中高生をターゲットにしたペットボトルのお茶」というテーマでポスターのラフ画制作の体験をしました。
- ポスターなどのデザイン業務の中で、依頼者の希望に合わせて、「誰に、何を伝えるか」を意識したキャッチフレーズを考え、見た目から「どんな印象を持ってもらいたい」をイメージした構想を練ることは、とても大事なポイント！



イメージを形にするのって難しい！

■業務を体験してみて…

- 自分たちが考えたラフ画をもとに、プロのデザイナーさんがソフトを使って形にしてくれましたが、「この色を変えるのは?」、「ぼかしはどれくらい?」、「フォントはどれが合う?」など細かいことまでしっかりと相談しながら決めていきました。
- 同じテーマが示されても、人によって持っているイメージが違っているので、認識を合わせ、お互いに意見を出しながら、イメージを形にしていくと、よりよいものを創りだすことにつながるのだと感じました。



教えて先輩！若手社員へのインタビュー

取材にご協力いただいた若手社員の方へ気になることをインタビューしました！



◆ M.Tさん

コミュニケーションデザイングループ
2024年入社。高校生の頃、「デザインすること」を職業にしようと決意し、専門学校へ進学。その後、「さらなる学び」を求め入社。

◆入社理由

デザインが好きで、専門学校でグラフィックデザインを学び、学んだことを活かしながら、もっと学びたかったからです。

◆業務内容

学校案内パンフレットの作成や、webサイトのデザインなど、デザイナーの業務を担当しています。



◆ R.Tさん

アカウントグループ
2024年入社。ウェブサイト関連の企業に勤めていたが、営業に携わりたいという思いから転職を決意し、入社。

◆入社理由

営業職に興味があり、横浜を知りながら営業ができる企業を探した結果、「ここなら！」と感じたからです。

◆業務内容

パンフレットやWebサイトの制作について、企業などに対して提案や案内、相談を受ける業務を担当しています。

お仕事の魅力や、やりがいは何ですか？

R 製品が完成して、お客さんに納品した時。お客様が喜んでいる反応を見られる瞬間が一番うれしいです。

M 仕事は、誰に向けてどのように表現するか、考えるところから始まります。自分が作った物が公開され、みんなに見てもらえると、「がんばってよかった！」と思います。



大変なこと、苦労したことは何ですか？

R お客様の伝えたいことの意図を正確に理解し、ゴールを設定することが難しいと感じています。お客様の希望に寄り添った提案、商品にお届けができるよう、色々な質問を投げかけて完成品のイメージを探るようにしています。

M 情報を伝達する方法が、パンフレットやポスターのように印刷物となる場合もあれば、Webサイトなどの電子媒体の場合もあるので、ソフトを使いこなすのが大変で、日々勉強です。



失敗したこと、挫折した経験はありますか？

R 車の運転が苦手なので、営業で企業に行く時はいつも緊張します。また、お客様によって考え方が違うので、コミュニケーションの取り方、代替案の出し方なども工夫する必要があり、苦戦することがあります。

M 仕事をしていると、自分の中では「失敗した」と感じることもあっても、最終的に先輩がカバーしてくれるので、実際は失敗ではなくなることがあります。その分、自分が先輩になったときは、後輩のミスをカバーできるように成長していきたいです。

社会に出て働くうえで、必要な“能力”は何ですか？

R 計画する力。それから、分からない事は絶対にあるので、知りたい情報を引き出すために的確に質問する力は必要だと思います。経験が糧になることもたくさんあるので、学生の時に色々な経験しておくといいと思います。

M デザインとはいえ、人と話す機会は絶対にあります。よい仕事をするためには、意思疎通が重要になるので、コミュニケーション能力は必要です。また、視野を広げるために、色々な事に興味を持つことも大切だと思います。

<インタビューや体験を通して感じたこと・学んだこと>

😊 お話を伺って、会社の方たちが自分のお仕事を楽しんでいるのが伝わってきて、私たちまで笑顔で体験とインタビューをすることができました。私はまだ将来について具体的に考えられていないので、これから先、将来について考えていくことが増えると、悩むこともあると思うけれど、今日聞いた話を参考にしていきたいです。(K.M)

😊 普段何気なく見ているポスター1つ作成するのに、色々な方が携わっていることを知りました。また、転職の話や、高校での話を聞いて、今焦って将来を決めなくても、ゆっくり自分のやりたいことを探していけるのだと思いました。私も様々な経験をしていく中で、自分が本当にやりたいこと、仕事にしたいことを見つけていきたいです。(M.A)

😊 デザインの仕事は、最初から最後まで1人で黙々とパソコンに向かって作業するものだと思っていたけれど、お客様だけでなく、社内でも複数の人で何度も話し合いをし、より納得がいくものを創り出していることを初めて知りました。プレゼン資料を作るときには、友達とも話し合い、自分以外の意見も聞いてみようと思いました。(S.T)